

皆様、明けましておめでとうございます。

会長 中山あつ子



今年辰年ということで2011年が過ぎ行く中、1年の終わりが気になる頃から「年女」という言葉が目の前をちらつき始めました。

生まれた年の干支がその年の干支と同じ場合「年男、年女」といいますが、基本的には「十二年に1度の良い年」とされているそうです。その根拠は、木星の運行が十二年周期であることに由来していて、それに木星は「社会的成功」など良い意味を持つ事柄を司る星とされており、これが生まれた時と同じ位置に戻ってくる事は幸運の象徴として古来からその

ように伝えられてきたのだと言われています。

昨年は、私にとって思いもかけない病気と出会い、この「年女」としての新しい年が楽しみでもあり、つい「今年の運勢」と書いてあれば自然とそこに目が行ってしまいます。健康運、金運、仕事運、恋愛運(これは友達運と勝手に思っている)などなど「うん、うん」とうなづきながら今年の運気に期待をかけているところです。

そのようにトロントで新年を迎えるようになって「何や彼や」と言っております内に歳月が過ぎました。思えばカナダ政府が再び移住者の受け入れを開始してから45年が経ち、その1966年には509人がカナダに渡ったと統計が出ています。新移住者も異文化の生活の中で根を張りながら年を重ねていますが、日本では100歳以上が4万

人を越えたと言いますから、年々、寿命も長くなりそのことを考えますと新移住者の方々が孫の世話や孫の日本語教育などに力を貸している姿は微笑ましくもあり、たくましくもあり、まだまだ我々は健在なのだと思う日々です。

しかし、トロント新移住者協会もこれからはそろそろ老後の事を考えて行かなければならない時期に入りました。ここに、1991年発行の20周年記念誌を開いてみますと当時の国際協力事業団所長が寄稿されたページに「新移住者も20年先には引退の時期を迎えることは必定であり、老後を不安なく有意義に暮らすことができるための高齢化対策があります。」まさに今その時期にかかりそれは大きな課題であり、この対応策についても会員の皆様と共有しながら充実させ、その為にはもっと外からの「声」をいただき耳をかたむけ一緒に考えて行く必要性を感じています。

世代交代の時期もじわじわと近づいていますが、多民族国家社会という恵まれた世界で生きる二世や三世の状況に応じながら、当協会がその事を考え活動をしなければならない事も大きな課題であり我々の一つの使命でもあります。「鉄は熱いうちに打て」の語源のごとく足腰が動いて頭脳も元気な内に一つひとつに真剣に向き合いながらそれらを果たすべき方向へと邁進して行きたいものです。

最後になりましたが、今年も皆様にとりまして、健康であることの幸せを噛みしめる1年でありますよう心からお祈り申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 【HBR 便り】最近、とても気になる物

滝沢ゆうか



さる11月30日、ヒロコバルルーム (HBR) の設立一周年記念祝賀会が催された。毎週水曜日のオープンハウス時間を延長し、部屋には特製の抹茶ケーキが用意された。NJCA メンバー、日系文化会館スタッフ、ジェームスヘロン氏、ゲリー川口氏、マーティ小林氏らが HBR に集まり、バル博子さんと談笑しながら、和やかな雰囲気のもとに、この日を祝いました

はてさて、携帯電話が世に出て久しい。お陰で、公衆電話が次々と路上や建物の一隅から消えて行った。老若男女を問わず、常備携帯物として定着した昨今、所持を拒んでいると不便を呈する事がある。やっとケータイに追いついた筆者は、次なる製品が続々と登場する市場に啞然としている。更なる人類の探求は、世を超特急並みのスピード化へといざない、飽くことなく続く。「まだ、ある…」と呟きながら、某社の「i なんとか…」の製品名を耳にするようになり、好奇心の念がむくむくとわきあがってきた。

スマートフォン(俗称スマホ)?何でしょう、これは? さる製品愛用者は「従来の携帯電話より快適なブラウザが搭載されており、メールを即時受信でき、操作性がよい。」「音楽や動画を再生する機能は従来の携帯より優れている。」と解説している。なるほど…



ポータブルオーディオプレイヤー? 真相はどうやら「パソコンで聴いている曲を種々選択して外で聴く機械。」半年前、中古品を甥から譲り受け、頻度は少ないが使っている。



タブレット型PC? 推薦する機器を評して、ある人曰く。「電子書籍の市場では用途がハッキリしている。カラーで高精細、動画再生可能、テキスト中心なら電子書籍閲覧用デバイスが読みやすく、雑誌みたいなコンテンツならこのタブレット型 PC がいい。」解かったような解からないような…

だが、持っていないなくても不便は感じないこれらの Gadget を日常生活から排斥することもないだろう。新年から、テクノロジーの傑作を解析してみようとの豊富を抱えているのは私だけではない。

赤岡理事(インターネット情報交換会(IIEC)開催のセミナーで講師を務めたり、例会では、機械に弱い人の相談にのつたりの経験あり)が毎金曜日の 12 時半~ 4 時半まで、HBRで、上記の機器(コンピューターも含む)万相談を請け賜っています。新年から、こういう機器の知識を蓄えてみませんか?

毎水曜日は、10時半~4時半まで(ロングウイークエンドやホリデーシーズンの週は除く) HBR のオープンハウス日。まだの方は是非!どうぞ。

HBR に関する問い合わせ: 滝沢ゆうか

yuka\_cosmic@yahoo.co.jp

## トロント紅白歌合戦リユニオンに参加して

米国ミシガン州在住 宮嶋幸男



2011年11月20日、日系文化会館でトロント紅白歌合戦のリユニオンが開催されました。

1977年の第一回から、これまでにトロント紅白に関与した人達のいわば同窓会です。

卒業生と現役生とを含め参加者は約200名を数えたとのことでした。

内容の濃いプログラムの制作とスムーズな進行、見栄えも味もどきりきりの食事、大スクリーンに映し出された映像、歌、踊り、寸劇、参加者全員による大合唱、それらのどれもが素晴らしい出来栄でした。

私も卒業生の一人として参加させていただきました。懐かしい人達との再会を含め、5時間に亘った楽しいリユニオンがあったという間に終わってしまった感じでした。

この日の為に、何ヶ月も前から準備をしてこられました皆さんの御苦労には感謝、感謝あるのみです。

トロント紅白のスタートは暗中模索、試行錯誤の繰り返しでした。勿論今の様にコンピューターもインターネットもTVでの日本語放送も普及していない時代でした。

楽しみの場を求めていた時代的背景もありましたが、回を重ねる毎に日系人の中に定着した人気舞台へと発展してきました。その裏にはトロント紅白の舞台にかける出場歌手の皆さんの熱意があったからだと思います。結果的にそのことが歌好きのトロントのお客さんに支えられてきたことが大きかったと思います。

又トロント紅白は毎年100人以上の人達が多くの時間をその準備に提供し、3時間の舞台を制作してきました。トロント紅白の特徴は、舞台の表と裏に関係なく、全員の協力で、皆んなで作り上げてきた舞台であることです。

30年以上に亘って皆さんと共に歌の楽しさを分かち合ってきたトロント紅白ではありますが、残念なことに今年、昨年と休演を余儀なくされているのは皆さん御存知のとおりです。

最初の頃の舞台を作ったのは、皆30代の若者でした。その若者達も今はそれぞれに結構な年齢に達しました。これからもトロント紅白を継続させるには若い人達との協力関係がキーとなるのではないでしようか。

今回のリユニオンに参加された皆さんは、戦後移住者の第一陣から、最近トロントに来られた方々と幅広い年代層の皆さんでした。皆さんの元気な姿を見て気が付いたのですが、トロント紅白の歴史は日本からトロントへの新移住者達の歴史そのものではないでしょうか。

2012年のトロント紅白の再演会場で又皆さんとお会い出来ることを願いつつ、後ろ髪を引かれる思いで会場を後にしました。「トロント紅白歌合戦リユニオン」の開催おめでとう御座います。参加させていただいたことにお礼を云わせて下さい。

写真提供

日本 e-nikka.ca

## トロント紅白裏話



宮下真尚

1977年に始まったトロント紅白、現在休演中も、日系人社会にすっかり定着し創成期に関わった一人として歓喜に等しい。トロント紅白の始まった経緯等はすでに多くの方が語って来られたので、ここでは裏話を幾つか取り上げて見たい。この年の夏の終わり頃同じ野球チームにいたTK氏より「本の電話があり「毎年の野球部の年末パーティーはマンネリして来たので今年は紅白歌合戦のようなものをやりたいと思うがどうだろうか」。僕自身は余り乗り気ではなかった、その理由は旧会館の音響装置に限界があり、本格的な歌番組を行うには相応の機材が必要になるからだ。その数週間後に実行委員会が設立され、各役割を決める際、言いたしっぺの僕は音響担当となってしまった。

さ〜て困った事にどうやって機材を調達するか悩んでいた折、ある音楽雑誌に目が止まった。ダメ元でヤマハカナダ社に連絡し、機材を一式借りられよう交渉。当時の駐在員に事情を説明したら何と二つ返事、さらにドアプライズの商品としてスキーの板まで進呈頂いた。以後数年に渡り毎年機材をヤマハ社より借用、ヤマハ社の協力がなかったらトロント紅白は実現出来なかったと言っても過言ではなかろう。さて第一回目の準備も進んでいたころ、YK氏より冗談半分で特別ゲストを呼んで見てはどの案があり、当時留学のためトロントに在住していた歌手のアグネスチャンを招待しよう(ウソだろ)、同じ学生だった僕に交渉に行ってみて来て、結局この話はお流れになったが若し実現していたら凄いな事になっただろうと今でも感じる。

最後にこれは究極の出来事だった。第2回目の紅白にて順調に進行し終盤の佳境に入った頃、故ロイ新さんが歌唱中にいきなり火災警報装置が鳴り始めた。スタッフ一同どうして良いのか、一時中断するか判らず、そして数分後には消防署員らが会場に入って来て「火事はどこだ?!」、だが火の気はどこにもなく暫くして引き上げて行き、歌合戦は中断せず無事に最後までやり遂げた。結局誤って警報装置に手を触れてしまった事が原因で、後にその本人より僕に告発(やっちゃった事は仕様があんめえ)と思いつつ本人には何も言わなかった。

さてその真犯人は今何処に。何れも今となっては良き思い出である。

OPEN:10a.m.TO 7p.m.(SUN:11a.m.TO 6p.m.)CLOSED:TUESDAY  
730 QUEEN ST. W. TORONTO M6J 1E8 TEL. 416.703.4550 FAX. 416.703.8593

JAPANESE FOODS & GIFT SHOP

# SANKO

http://www.toronto-sanko.com

日本送料のギフトあります

書籍は航空便で直輸入  
定期購読受付中!

おにぎり(週末)あります  
活気のある人求む  
土日働ける方募集中!

日本食料品  
みそ・しょうゆ各種  
新鮮野菜  
冷凍魚各種  
スキヤキ肉  
数の子昆布  
いくら・とびこ  
塩鮭切身  
冷凍えだ豆  
和菓子各種  
オーガニック緑茶

さくら米  
炊飯器  
和食うつ多様  
新刊雑誌・古本  
MAXELL/バッテリー  
ペンテルペン  
テレホンカード  
ビデオレンタル  
元気の源 元気ドリンク  
他たくさん!!

IKEBATA  
NURSERY SCHOOL  
TORONTO CANADA

池端ナーサリースクール  
オンタリオ州認可保育園  
Tel. (416)510-1441  
www.ikebatanursery.com

- \* 18ヶ月〜6歳前後(年齢別・日本語保育プログラム)
- \* プログラム時間: 8:30am〜4:00pm (時間外保育: 7:45am〜6:00pm)
- \* 日本とカナダの経験豊富な幼児教育士による指導
- \* 少人数グループでの日本語学習時間
- \* 毎月の行事、お料理保育、遠足、発表会など豊富なプログラム内容
- \* 給食、おやつ込み・兄弟・姉妹割引あり

ボランティアスタッフ募集中!

不思議さに満ちた人と人との出会い  
～ JSS メンタルヘルスの取り組みから～



ジャパニーズ・ソーシャル・サービス副会長 傳法 清

今は故人である写真家の星野道夫氏は著書「旅をする木」の中で次のように人と人との出会いについて書いています。曰く、「人生はからくりで満ちている。日々の暮らしの中で、無数の人々とすれ違いながら、わたしたちは出会うことがない。その根源的な悲しみは、言い換えれば、人と人が出会うかぎりない不思議さに通じている」と。彼が若い頃、東京・神田の古本屋街の洋書専門店で一冊のアラスカの写真集を見つけなければ、それに引き入れられることもなく、その後アラスカに出向くこともなく、アラスカに住む生きとし生けるものの命の写真を撮り続けることにもならなかったかもしれない。しかし、今度は彼の活動がきっかけとなって、最初に引きつけられた写真を撮ったジョージ・モーブリー氏が彼を探してアラスカにやってくることにもなったのである。

ジャパニーズソーシャルサービス(以下 JSS と略す)の唯一の常勤カウンセラーである公家が 2009 年のある日の理事会で、メンタルヘルスの相談が他の相談に比べ最も多くなり、うつや自殺企図をもつクライアントも増えているとの報告をした時、私達はメンタルヘルスの問題に対するプロジェクトチームを立ち上げることに決定した。私達は日本語で相談ののってくださる精神科医がトロント圏にいてくれたらと切望していた。私は JSS のプログラム委員会を引き継いでいた。ちょうどそのような折、日系社会担当領事であった古賀達朗氏がまたま接触して下さったニューヨーク総領事館の吉田前医務官は JSS のメンタルヘルスの講演会の講師を快諾して下さった。その先生が関西での臨床経験を持つ精神科医であることを知った私達は偶然の幸運に驚いたものである。それが 2010 年の冬に開催した、うつに関する第一回目の講演会である。吉田先生はその場で、ニューヨークにある邦人医療支援ネットワーク(JAMSNET)の会員になることを勧められ、公家と私、そして古賀領事が会員となり、ニューヨークの医療関係者との連携が始まった。また、この講演会の参加者は PR の期間が大変短かったせいもあり、また、うつ病をテーマとした講演に出席するのをはばかる人々もいらしたようで、15名程と大変少なく、吉田先生に申し訳ない思いであった。ただ、その中でも、山下前総領事ご夫妻を始めとして3人の領事がおいでになったのがこのような取り組みに対する総領事館のバックアップとして身にしみてありがたかった。以後このメンタルヘルス講演会は吉田先生の後任である清水哲哉医務官(同じく精神科医)に引き継がれ、その演題も「うつ病と認知症に対する予防と対策」という形に広げることができ、2011年2月の講演会では日系コミュニティーから61名もの参加者をうることができた。また私達は、ヨーク大学社会福祉学部の松岡先生の指導のもとに WRAP(Wellness Recovery Action Planning) というシニアのためのワークショップを年一回、二年にわたって持つことができ、このワークショップ経験者を中心としたピアサポートグループである若返りクラブも月一回継続してもてるようになっていく。

さて、メンタルヘルス関連で多い、発達障害をもつ子ども達の相談についてであるが、これについては、カウンセリングや3歳児親子グループ(ひよこプログラム)で対応してきており、さらには、ある日本語学校からの依頼を受けて、保護者の相談や担当する先生方からの相談を 2009 年度から月一回、学校に出向いて実施するようになった。その中で、近年診断基準が確定して以来注目される様になった注意欠陥多動性障害や高機能自閉症、アスペルガー症候群といった発達障害に関しても従来からいわれている学習障害や自閉症と合わせ 日系コミュニティーの皆さんに正しい認識をもっていただくこと及び実際にその障害をもつ子ども達や保護者の皆さんの力になることがますます必要となっていた。そして、このニーズに対して、ニューヨーク日系人会のシニアウイークの企画の中で、お茶の水大学院教授の榊原洋一先生が「小児の脳と神経、神経発達の仕事」という演題で講演をなさることを吉田先生は教えて下さり、公家と2人で金曜の仕事が終わった後で車を飛ばして聴講させてもらいにいった。その講演内容をきいて、それがトロントの人々にとっても有意義なものであると考えた公家はその場で先生にトロントにもおいていただきたいと希望した。また私は私で、榊原先生をニューヨークに派遣されたのが海外邦人医療基金であることを知り、またまた吉田先生に基金の常務さんを紹介してもらって、派遣してもらえるよう昨年 11 月、基金の東京事務所に伺ってお願いしてきた。



このような経緯をへて、今年の9月26日と27日、榊原先生による発達障害講演会及び相談会は実現した。これを実施するために私達は準備会を作り、周到な準備を重ねた。保護者の代表がコーディネーターを引き受けて下さり、日加学園、日修学院、国語教室の代表の方も参加して下さいました。新移住者協会は財政的な支援をすることを決定、FTF の代表者を新移住者協会の代表として派遣して下さいました。トロント仏教会、日系会館は準備会や相談会の会場を提供して下さい、ピッツや E ニッカ、そしてワイワイワイドといった日系ローカルメディアもコミュニティーへの啓蒙に努めて下さった。トロント商工会は協賛、トロントジャパンファウンデーションも協力という形で支援して下さいました。メンタルヘルスの取り組みに関しては当初からトロント総領事館からの全面的な支援を受けていたが、それに加えて、とくに今回の取り組みに関しては新移住者協会からの物心両面にわたる心のこもったご支援をいただいたことに厚く感謝するものである。結果に関しては、11月27日の新移住者協会の日本語教育プロジェクトの講演会でも報告させて頂いたとおり、講演会に関しては二回あわせて 120 名の参加者をえ、相談会についても 34 名が参加された。参加者のアンケートによると講演会の評価は5段階評価で 4.45、そして相談会の評価は同じく5段階評価で 4.8 に達した。榊原先生の講演の有益性はパーセント評価で 92.5 %と極めて高く、相談の有益性は同じくパーセント評価で 96 %と、JSS が取り組んだこの特別企画に対する参加者の満足度は極めて高いものであったことが伺える。

最後にもう一つ特筆しておきたいことがある。この講演会/相談会を一回きりのものとせず、継続開催できるような働きかけにあわせて、私達は発達障害をもつ子どもたちの親の会の活動をすでに始めているのである。これは今年度の年次総会において三浦氏からの助言を肝に銘じてのことでもあるが、サポートグループを充実させることがなにより大切だと考えてのことである。発達障害児をもつ親の会は8月21日に発足。保護者のみなさんはご自分達の会の名前を「アムロを育てる会」と名付けられた。保護者の話し合いには公家カウンセラーのスーパーバイザーであるジーンピアサ氏が入っている。子ども達のグループは私と妻が中心に見ている。それに長女や、ひよこグループのボランティアとして活躍してくれた方で幼児教育のコースを学ぶ学生も参加してくれている。2回目からは日加学園の校長先生も保護者のグループに参加してくれている。そして二回目にはなんと、和歌山県精神保健福祉センターの所長であり、児童精神科医である小野善郎先生が講師として参加して下さいだったのである。ちょうどトロントで開かれたアメリカの児童精神医学会に学会理事として参加されていた先生がボランティアで下さり、保護者からの質問に熱心かつ丁寧に答えて下さったのだ。この先生を紹介して下さいのも私達がメンタルヘルスのプログラムを充実させるうえで大変お世話になった吉田先生であった。しかも吉田先生は現在アルジェリアの日本大使館に医務官として勤務されているのにも関わらず仲介の労を執って下さったのである。

人と人との出会いは本当に不思議さに満ちていると思う。異文化のなかで生活し、心の悩みや発達に親身に寄り添って取り組んでいるからこそ、その大切さを痛感している精神科医、吉田先生との出会いがあり、その出会いが JSS のメンタルヘルスの取り組みをここまで進展させてくれたといっても過言ではない。そのことに深く感謝するとともに、これまでの取り組みを通して作られた人と人のつながりの中で、私達のプログラムがトロントの日系社会の中に根付いていくことを願ってやまない。

**みついし商店・サンダウンマーケット**

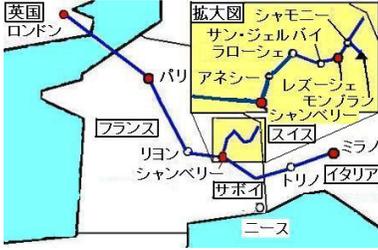
日本送り用ギフト 承っております **日本食品**

**ビデオレンタル・雑貨**

<p>● スカーボロ店</p> <p>日～水 10:00～18:00 木・金 10:00～19:00 土 9:00～18:00</p> <p>4385 Sheppard Avenue E., Pearl Plaza内, Unit 15, Scarborough, ON, M1S 1T9 (Brimley &amp; Sheppard) ☎(416)496-9083/FAX(416)496-9084</p>	<p>● エトピコー店</p> <p>日～水 10:00～18:00 木・金 10:00～19:00 土 9:00～18:00</p> <p>826 Browns Line, Etobicoke Ontario M8W 3W9 (Evans Ave. &amp; Browns Line) ☎(416)251-7900 / (416)259-8260</p>
--	---

## 鉄道三昧ヨーロッパの旅

三浦信義



今年の秋のヨーロッパ休暇はゆうかさんの意見を聞く前に鉄道の旅にしてしまった。ハイライトはフランス・サボイ地方の乗り継ぎローカル電車の旅。

### ◆ロンドン◆



まずは英国・ロンドンへ英国航空で。ヒースロー空港から市内パディントン駅までノン・ストップ 20 分のモダン軽快な電車(写真)に、トロントがはずかしい。

古い低いトンネルを首をすくめて走るロンドン地下鉄チューブの「かまぼこ」電車は、小さい為、屋根の一部までドアが開く。密閉恐怖症には大敵の電車だが、それを感じさせない車内の設計に感心する。ただし切符が高く、短い距離は歩いた。電車は好きでも高いのは嫌だ。

ユーロスターでロンドンからパリまで。ユーロスターが英国国内も新線をはるようになってロンドン始発駅は斬新なセント・パンクラス駅になった。ユーロスターは接続型の客車の前後を専用機関車がはさむ。TGV を含めヨーロッパの高速列車はこのタイプが多い。この素晴らしい高速電車の一部はカナダのボンバルディエ社製である。カナダの VIA は何をしているか。ただし切符は高い。英国海峡トンネル工事費を奪い返す為だろう。しかも一番便利な時間帯が高い。当然その時間帯を外した切符を買った。英国は EU 国家ではないので、改札に EU 入管があり、セキュリティ・チェックを通ると待合室。空港と同じ。

ユーロスターはロンドンを出るとすぐに野原のど真ん中の田舎駅に止まる。この田舎駅停車はフランスがぶつぶつ文句を言っているが英国は無視。以後はパリまでノン・ストップ。

### ◆パリ◆



英国海峡トンネルまで約 30 分、トンネルが約 30 分、フランス側に入ると広い農耕地帯を時速 300 キロで快適に走る。ロンドンから 2 時間半でパリの北駅へ。昨年フランス航空でチャールズ・ド・ゴール空港に着き、快適な空港直結電車でこの北駅に着いた。地下鉄へ行くエレベーターも知っている。地下鉄でサン・ジェルマン

のホテルへ。

昔はパリの地下鉄は緑の普通車の真ん中に赤い一等車が付いていた。それはどっくの昔にない。地下鉄に少々乗り、電車のどの辺に乗れば駅の出入りに近いかわかった頃、パリ・リヨン駅からフランス国鉄自慢の高速電車 TGV でサボイ地方へ。

なぜサボイ? 昨年ニースへ行った時、フランスとイタリアに挟まれた、地中海からスイスのジュネーブ湖までの広い山岳地帯が長い間サボイ公国として欧州屈指の名家サボイ家の国家であったことに興味を持った。歴史のいたづらがなければ今もフランスとイタリアの間にオランダ王国並みのサボイという国が存在していてもおかしくない。

パリ・リヨン駅は昨年ニースへ行くのに TGV に乗った。工事中で、乗り場が工事現場の向こうなのも昨年と同じ。ここでインターネットでは買えなかった、TGV の終点から山の中までの切符を買う。切符売り場にあった時刻表は古くて、インターネットからコピーしたものが正確だった。

### ◆TGV◆ (Train à Grande Vitesse)



ヨーロッパの列車は発車時刻になると何のアナウンスもなく静かにコックンと動き出す。あの騒々しい日本の駅員の金切り声と発車ベルよりはずっと旅が楽しめる。

パリ・リヨン駅を出るとすぐ TGV は広い農耕地帯を快走する。軒先の洗濯物が車窓をかすめる日本の新幹線とは違う。昨年ニースまで乗った TGV は最新の 2 階建だった。今回は第 1 次型「平屋」客車 7 両にビュッフェ車。トンネルに高速で入ると耳がつんとしたのは第 1 次型のせい。韓国が韓国新幹線に TGV を導入した時、この「つん」対策に苦勞した。だから日本の新幹線を買えば良かったのに。

昨年の TGV は大都市リヨンもノン・ストップで地中海まで 3 時間走り続けた。名古屋を止まらずに大阪まで行ったようなものだ。今回は 2 時間弱でリヨン郊外の TGV 専用駅に停車した。大阪駅に対する新大阪駅だ。この TGV はこれから TGV 専用線を離れ、普通の線路を東へ向かう。秋田新幹線が盛岡からぐっと左折して、標準軌 1435 ミリに改軌した田沢湖線を秋田へ向かうのと似ている。

そこからは一部を除いて単線で、大きくカーブすると先頭車が見える。速度も最高で時速 160 キロあたりと思った。ぐんぐん山間に入り、昔の上越特急「とき」の上越国境山越えを思わせる。

大きな峠を越えてサボイ公国の首都シャンベリーに着いた。ここは後で 1 泊し、サボイの栄光に浸る予定。これから TGV は逆転し谷沿いに北上し、さらに高度を上げ、終点アネシーに 2 時半着。1 時間待ちでローカル電車でこの先のサン・ジェルバイへ向かう。以前 TGV はそこまで行ってくれたらいいが、今はここで打ち切り。電車を待つ間にサボイのベニスと言われる川や池や運河があるアネシーの小さなダウンタウンを散策した。

### ◆山岳電車◆



サン・ジェルバイ行き電車はちょっと古い 2 両編成。ただし内部は日本の特急並だ。単線の為、途中で行き違いに時間を取られ 9 分遅れる。サン・ジェルバイでの山岳電車の接続が 9 分で、気になったが、いつのまにか 4 分遅れまで回復。その間に両側に山がそそり立ち始める。日本の火山性の山々と違い、褶曲(しゅうきょく)山脈の山々は異様な形で空を指している。

サン・ジェルバイの駅に着くとホームの反対側に赤い山岳電車が止まっていて乗り換えは全く心配なかった。これは日本の在来線と同じ狭軌 1067 ミリ。3 両編成で、真ん中のはそそり立つ山々が見えるよう天井の一部も窓になっている。架線がない。下を見ると第三軌条集電の電車だった。トロントの地下鉄や東京の古い地下鉄と同じ方式だ。動物が走り回るこんな自然の中では驚いた。ショートした丸焼きの鹿などが時々食べれるのではないか。

電車がサン・ジェルバイの駅を出た途端、背中が押されるほどの勾配を登り始めた。がりがりという雑音がないので昔の信越線の碓氷峠のようなラックの助けは借りていない。それは運転席から確かめた。この電車の車輪の粘着力は大したものだ。乗り降りする乗客がいなくて駅に停車せず、我々の今夜の目的地レズーシェに 5 時半到着。駅舎はあるが無人駅。タクシーどころか付近に人影もない。観光シーズンは夏と冬で、軒並みあるスキーシャレーは皆閉鎖。予約した、唯一営業中のこの宿は安い。一泊 50 ユーロ(約 70 ドル)。部屋から西日を浴びて真っ白に輝くモン・ブラン 4810 メートルが目の前にそびえて見える。ここは山に囲まれた谷底で午後早くから太陽があたらない。谷底でも標高 1000 メートル。

### ◆シャモニー・モンブラン◆



この宿が山岳電車乗り放題のクーポンをくれた。翌朝はそれを握り締め、まずは山岳電車でスイス国境まで。ぐんぐん登った峠の国境の駅は西部劇の部落を谷間に置いたような何もないところだった。途中、見上げるように両側から迫る雪を被った山々の神秘は何と表現したら良いか。その間から氷河が流れ出ている。ただし氷河の末端からかなりの部分に木々が生えていないのは、氷河が最近解けたことを示していた。

国境から同じ電車で折り返し、シャモニーで下車。さすがにこの地域の中心地、季節外れとはいえ、高級店なども並んでいて賑わっていた。ここからケーブルカーを乗り継いでモン・ブランを目の前に見る最高点 3842 メートルまで登った。富士山より高い。見渡す限り山々の海。気温マイナス 4 度は大丈夫だったが、酸素の薄さに貧血を起こしてしまった。

### ◆シャンベリー・サボイ公国◆



翌朝は山岳電車の接続が悪く、タクシーを呼んでサン・ジェルバイ駅まで行った。谷底を鉄道、高速道路、国道が所狭しと交差している。それを落ちるよう下って行く。

サン・ジェルバイ駅で目的地シャンベリーまでの切符を買う。時刻表によると次ぎのアネシー行き電車はシャンベリー行きへの接続がきつい。その前の、行き先の違う電車

でラローシェまで行くとアネシー行き国鉄高速バスがあり、アネシーでジャンペリー行きへの接続が良い。それに決めた。

サン・ジェルバイ駅からの電車は 2 両連接型アルストム社製最新モダン電車。非常に軽快に走る。オタワにカーleton 大学を通るモダンな赤い 2 両連接型ディーゼルカーが走っているが、あれと同じ車両で、モーターとエンジンの違いだけである。

ラローシェ駅は 2 つの鉄道路線の接続点で、小さな静かな駅前でバスを待つうちにいくつか電車が着き、バスを待つ人の列が出来て、このバスが結構便利なることを知る。電車の切符で乗れる。高速バスは駅を出てすぐ高速道路に入り、再び坂をどんどん下る。ほぼノン・ストップでアネシー到着。ここからジャンペリーへの電車も同じ 2 両連接型アルストム社製電車、それを 2 つ連結していた。

サボイ公国の首都ジャンペリーはこの地域では大都市。サボイ家の居城が威厳を保って居座っている。旧市街は狭い石畳で、そこここに広場があるのはヨーロッパの古い市街に共通している。泊まった B&B は旧市街の中世の石造りの建物の中にあつて、部屋が驚くほど広く、天井も高く、貴族のような気分になった。この町が一番英語が通じず、下手なフランス語を思い切り話せて満足した。

◆ミラノ◆



翌朝ミラノへ向かう。10 分遅れでやって来た電車は TGV 第 3 次型。ジャンペリーから東へ深い谷間を右へ左へと登って行く。ここも鉄道と高速道路と国道と川が狭い谷間を交差しながら続く。両側に雪を頂いた山々が迫る。山肌の紅葉が美しい。イタリアとの国境の駅で停車。そして峠のトンネルを通過してイタリア側の国境の駅に停車。同じ EU 国家なので検問などはない。ただしその後のアナウンスはすべてイタリア語になってしまった。この付近の山々は軒並み 3000 メートル以上だ。

そこからぐんぐん山を下りトリノへ。ところがトリノ郊外から地下に入りトリノは地下駅。真新しく、多分冬季オリンピックの時に長距離列車用に建設したと思われる。発車後も地下をかなり長く走り、出た時はすでに郊外で、トリノの街を見ることは出来なかった。

3 時にミラノ中央駅到着。他の大都市の駅同様の終着駅で、国際列車を含めた長距離列車が顔を並べて巨大な屋根の下に停車している。スイスからの SBB も来ていた。これは日本の新幹線同様全動力車型である。この駅舎の建物も巨大で、そのまま美術館になりそうだった。



駅の脇のホテルへ。斬新快適なビジネスホテルだった。早速地下鉄で中心街へ。さすがはファッション・キャピタル、粋な店が並ぶ。ゆうかさんが店を探索中、走り回る市電を眺めていた。この路線網はかなりのもので、最新の連接車から交通博物館行き直前の古風な電車まで沢山の人が乗せて走っていた。人々は信号も無視して道を渡り、電車が来るとアリが引くように電車を避けている。おばあちゃんが孫の手を引いて走って来る電車の前をよたよた横切り、よいしょと歩道にたどり着くのなんか見ていると、きっと毎年かなりの人がぶつかっているに違いないと思った。市電の停留所にはそれぞれの路線番号の電車があと何分で来るか電光表示されている。利用者はとても助かるだろう。

ミラノに 2 泊。ミラノの地下鉄は 3 路線のみ。ありきたりで特に記述するものはない。

ミラノから英国航空でアルプスの上を飛び、ロンドン経由で帰国した。

◆トロント◆



帰国しトロントの地下鉄に外国人の目で乗って見た。駅はすっかり広く、電車も大型で、ロンドン、パリ、ミラノの地下鉄よりもずっと良い気がした。さらにトロントの駅にはエスカレーター、エレベーターの設備が多く、身体障害者、お年寄りに親切な気がした。ロンドンやパリは地下鉄が古く、そういった空間の余裕がないことが理由とは思ふ。

簡単に解けなさそうで解ける問題



中山あつ子

今朝も Toronto Star に載っている Sudoku を楽しみながら解くことができました。この Sudoku は本も売っていますので長旅の機内に持ち込んで退屈しのぎにやっています。さて、新聞にもう一つこのような問題が載っていたので皆さんと一緒に答を考えてみましょう。簡単に解けそうで解けない問題というより、簡単に解けなさそうで解ける問題です。冬の夜長に楽しく考えてみましょう。

- 1.『If Martha's daughter is my daughter's mother, what am I to Martha?』さて私は誰でしょう。
- 2.『5000 を線を一本引いて半分にしてください。』
- 3.『00X を線を一本引いて箱にしてください。』

\*答は後のページにあります。

人の心は温かい

森貞一弘



今年(2011年)ほど命の尊さと人の心の温かさ、人と人の繋がりの方強さを感じた年はないだろう。

カドロンに住む一家族の提案で、地元の小さな小学校の児童たちが被災地宛に手紙を書き始めたのは春休み明けだった。そしてその数は 120 通を超えた。ところが物理的に手紙を届けるというのは想定外に困難で、このプロジェクトは行き詰まったように見えたのだが、「遠くに住む私たちにも何か出来る」という精神で FTF を含むいくつもの日系コミュニティ・メンバーの丸となった援助により、最終的には出版社、テレビ局、新聞社までも含めた大きな輪になって実現した。(手紙の原版だけでなく、ボランティアによって翻訳され、スキャンされ、冊子や CD メディアなどにして、広範囲に配布されている)

やがて日本の小学生～高校生から返事が届きました。(ここでもボランティアが翻訳などで活躍しています)これは12月11日、JCCC 冬期ファミリーフェスティバルの会場で展示されていた中の一通を撮影したものです。津波の被害の大きかった岩手県大船渡に住む小学生3年生から届いたもので、HB 鉛筆と色鉛筆で力強く、かつ丁寧に書かれています。

日本は着実に復興に向かっていきます。それは国会とか地方自治体の力だけでなく、人々の暖かい心のふれあいから始まっているのです。

がんばろう日本!

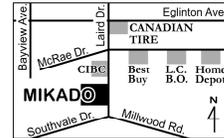
デリバリーご注文うけたまわります

- ◆ 寿司、刺し身、自家製スモークサーモン、定食類、麺類、丼物、種類豊富な一品料理を御用意しております。
  - ◆ 御家族連れ用畳部屋有り。各種テイクアウト致します。
- 個人～団体様用パーティールームございます。

ラオタイム 火～金 11:30～2:30  
 テイクアウト 火～木・日 5:00～10:00  
 金・土 5:00～10:30  
 月曜定休日

日曜も営業!!

◆ 当店ホームページ mikadorestaurant.ca を御覧下さい ◆



LICENSED

114 LAIRD DR. LEASIDE

駐車場完備

TEL/FAX: 416-421-6016

寿司・割烹



みかど

オーナーシェフ 梶田佳一

1978年創業



日加学園 13歳 清澤未来



今年 7月ブラジルのサンパウロで行われた JICA 主催の汎米日本語教師合同研修会に参加させていただきました。今回で二度目の研修でしたが多くのことをまた学ばせていただきました。『協働』というテーマで行われた研修は学習者主体の学習をどの

この目的だけで日本に行きたかったわけではありません。いろいろな国からきている研修生が話す言葉を習ったり、みんなと仲良くなったりしたいと思っていました。

飛行機からおりてカナダからの研修生と合流してジャイカ横浜に行きました。着いてすぐ夕食を食べました。でもみんなラテンアメリカの研修生たちはスペイン語でにぎやかに話していました。すごく悲しかったです。

カナダの研修生たちは日本語だけがみんなにつじるのでいつも日本語でした。三日目ぐらいにやっといっしょに日本語を話し始めました。四日目ぐらいにはみんなと仲良くなって来ました。でもまだコミュニケーションをとるのがむずかしかったです。

着いてから三日目のプロジェクト・アドベンチャーというプログラムに参加しました。このプログラムは研修生たちの交流の場を作るのが目的です。

最初の休日の二十五日と二十六日は静岡の知り合いの家に行きました。

清水の水族館へいきました。とても楽しかったです。いい思い出をたくさん作りました

移住学習をジャイカの二階で勉強しました。カナダの歴史より日本の歴史のほうがおもしろいです。どう、どこへ日本人は移住したのかを習いました。

三日間、仲尾中学校と言う中学校へ行きました。三日間、五分ぐらい階段を登るのを六回くり返しました。すごつかれました。でもすぐに友達が出来て、とてもいい体験でした。

一週間研修旅行に行きました。大阪のパナソニックや大阪城に行きました。すごきれいな城でした。

次は京都の宇治でツアーをしました。色々な神社に行っている色々なことを習いました。神戸では地震のミュージアムへ行って「ホテル・1・2・3」に二泊しました。広島では宮島に行って広島のお好み焼きを食べました。あと、ホームスティもしました。楽しかったです。夕食はお寿司と流しそうめんをたくさん食べました。とてもおいしかったです。

みんなとわかれるのがすごつらかったです。みんなのことを思うと今でもさびしくなります、

この研修ではいろんなことができてとてもうれしかったです。色々なことを学びすごくいい体験でした。

本当にみなさんありがとうございました。

ようにサポートしていくのかを軸に副教材の作り方まで幅広く学べたと思っています。

ブラジルでは冬の7月でありましたが、20度を超える日も多く私には暑く感じられました。しかし現地の人々は毎日寒い寒いとぼやいておられ体感温度の違いには驚きました。朝9時から夕方5時まできちんと授業を受け夜はもう予習もせずに眠って次の朝は一番に日本語研修センターにつくように頑張ってきました。一回目に参り入りお世話をしてくださっていましたが、残念ながら今回は一切ありませんでした。このことから日本語教育が段々地位を失ってきているように感じられました。しかし集まって来られた先生方は老若男女を問わず教育にたいする真摯な姿勢にまだまだ大丈夫と少し安心しました。

部屋割りには二人一部屋で片方がブラジル人で何かあってもポルトガル語でどちらかが対応できるように配慮されていました。私のルームメイトの宮本君はまだ大学生でとっても大人しくでもよく勉強する日系ブラジル人です。だからご他聞にもれず部屋のテレビはいつもサッカーの試合を観ています。さすがはサッカー大国ブラジルです。

今回先ず聞いたことは、JICA が何故日本語教育に力を入れているかということです。それは戦後日本が移住政策をとり海外とりわけ南アメリカへ日本人を移住させた責任で現地の日本人に教育という援助を行っているということだそうです。カナダは国策としての移住ではないのでいざれこのような研修からはずされるかもしれないという懸念はあります。だからこそ早いうちに多くのカナダにおられる日本語教師の方にこの素晴らしい研修をどんどん受けていただきたいと心から望んでいます。

今回の研修で学びたかった「学習障害を持つ生徒に対処する教育法」ですが、まだまだ南米の各国では顕著な事例は見られず、日本やカナダのような先進国の方が進んでいることがわかりました。いつかカナダで南米各地の日本語教師のためにそういった問題の対処法を研修する機会を開いていってあげられたらいいなと思いました。

最後に長年携わってきた教育現場から学んだものや、このような研修で学んだものを次の世代の教育者達に伝えていくことがこれから私のやっていかなくてはならない仕事ではないかと感じております。

LEXUS TOYOTA SCION HYUNDAI  
 ー ドンバレー・ノース ー  
**DON VALLEY NORTH AUTOMOTIVE INC.**  
 新車・中古車・一般修理  
 板金・塗装・リース  
 お車のことなら何でも、日本語でお気軽にご相談ください。  
 ■ Don Valley North Toyota Scion www.dvntoyota.com  
 3300 Steeles Ave. E., Markham 905-475-0722 支那  
 ■ Markville Toyota Scion www.markvilletoyota.com  
 5362 Hwy. #7, Markham 905-294-8100 田中  
 ■ Don Valley North Lexus www.dvnlexus.com  
 3120 Steeles Ave. E., Markham 905-475-1625 横山  
 ■ Lexus of Richmond Hill www.lexusrh.com  
 11552 Yonge St., Richmond Hill 905-883-8812 坂本  
 ■ Don Valley North Hyundai www.dvnhyundai.com  
 7537 Woodbine Ave., Markham 905-513-6878 横山  
 ■ Collision Repair Centre  
 391 John St., Thornhill 905-886-0434 山口

笑顔のおもてなし  
**J-TOWN** Japanese Shopping Centre 日本の物なら何でも揃う www.jtown.ca  
 3160 Steeles Ave. E., Markham L3R 4G9  
 営業時間 : 火・金 10:00~19:00  
 土 9:00~19:00  
 日 11:00~18:00  
 月曜定休

<b>平成マート</b> 日本食品 和風野菜 etc. 905-305-0108	<b>BAKERY 中むら</b> パン、ケーキ 905-477-3555	<b>FāMu</b> 特約農場より直送の 安心なナチュラルミート、 和牛、黒豚、皮付チキン他 905-475-5005
<b>SAKANA-YA</b> 日本人板前の 鮮魚直仕入 漬け肴 各種弁当 647-688-4815	<b>とら寿司</b> 日本人板前の 本格寿司！ パーティートレイも ございます。 905-948-8047	<b>J.B.C.</b> Books & Videos 日本の雑誌、 ビデオ、日本 905-415-0611
<b>Boutique Ai</b> 日本からの 婦人服と アクセサリー 905-470-7772	<b>SILK</b> 日本の雑貨一般 905-258-0294	<b>Japan Beauty IMAGES INC</b> JHL/EIDO トイレットグッズ 905-943-9248
<b>Cafe Green Tea</b> カレー、うどんなどの 軽食喫茶 905-470-0758	<b>STUDIO T (美容室)</b> 予約優先制 905-475-4247	

前々回のにゆうすれたあ(2011年7月号)で日加学園福本さんの投稿記事を読み、移住者の多い広島県出身でありながら、知らないことが多く、また気になることもあり自分なりに調べてみました。

まず、近代日本人の最初の移住先は何処で、何時頃だったのか? という疑問です。

江戸時代、日本は鎖国をして自国民の海外流出を防いでいましたが、1866年に海外渡航禁止令(鎖国令)が解かれてから海外移住が認められることとなりました。

1860年(万延元年)ハワイ王国から労働者供給の要請があり、徳川幕府は在日ハワイ領事のヴァン・リードに出稼ぎ300人の渡航印章(パスポート)を下附しました。けれど、その後日本政府は明治政府へと入れ替わり、その交渉内容を無効としましたが、その時既に渡航準備を終えていたヴァン・リードは、1868年(明治元年)153名の日本人を無許可でホノルルへ送り出してしまいました。(こうして送られた初の日本人労働者は元年者と呼ばれています。これにより、ハワイが日本人の最初の移民先であると言えます。)

これに対して日本政府は自国民を奪われたとハワイ政府に抗議をし、うち40名は即時帰国しました。1871年(明治4年)日布修好通商条約を締結。1885年(明治18年)日布移民条約が結ばれ、ハワイへの移民が公式に許可されたのです。(ハワイ移民局局長であり三井物産の顧問でもあったロバート・ウォーカー・アーウィン(アメリカ人)から相談を受けた時の井上馨外務大臣は益田孝三井物産社長と結託して、余剰人口の供出、外貨の獲得という目論見から官約移民を実現させたと言われています。また、1885年(明治18年)、第一回移民船(シティ・オブ・トーキョウ号)がハワイに向けて出航しました。けれどその移民の内訳については、当時、農村は全国的に凶作であったため、全国から多くの応募(2万8千人)があったようですが、その中から渡航を許された者(944人)を出身県別に見ると、山口県(420人)と広島県(222人)の出身者だけで64%を占めていました。このような地域的な偏りがでた大きな理由は、井上馨外務大臣と、三井物産会長がともに山口県(長州)出身であったためとも言われています。)

政府の斡旋した移民は官約移民と呼ばれ、1894年に民間に委託されるまで26回続きました。官約移民は「3年間で400円稼げる」といったことを謳い文句に、盛大に募集が行われましたが、実際には人身売買に近かったといわれています。(また、移民は徴兵されないということもあり、徴兵から逃れるために海外に渡った人もいると見られています。)1894年以降は日本の民間会社を通した斡旋が行われるようになり、特に広島海外渡航会社、森岡商会、熊本移民会社、東京移民会社、日本移民会社は五大移民会社と呼ばれ勢力を誇っていたそうです。

明治政府がなぜそのように移民を推進したのかについては、当時、旧士族の反政府蜂起が相次ぎ、農民一揆も多発したため、旧士族層と農民層を分断し、懐柔する政策がとられていたことによります。困窮して不満を高める旧士族と、貧困にあえぐ農村部の生活を立て直すことが、明治政府の初期の課題の一つだったのです。

次に、今まで一番移民を多く送り出しているのは何処かについてですが、1881年から1994年までの約100年間で何人くらいが海外に移住したかについて、横浜の移民資料館の資料によると、760,000人という数字が出ています。県別にみると、多い順に、広島; 109,893人、沖縄; 89,424人、熊本; 76,802人、福岡; 57,000人、山口; 57,000人、和歌

山; 32,000人、福島; 25,000人、滋賀; 13,000人となっているそうです。

何故広島県は今までそのように移民を多く出しているのかについてですが、1880年代明治政府の進める急速な近代化と富国強兵策の中、広島でも人口増加や米価の下落などにより、失業者や自分の土地を失って小作農となる人が増えていましたが、当時の広島はまだ経済規模が小さく、十分な雇用力がなかったことがあげられます。もともと全国で二番目に一人当たりの農地が少ないという農村部の実情と(これには、広島は安芸門徒とよばれる浄土真宗の中でも信心深い土地であり、そのため生まれた子を殺す(間引き)ことなく育てる風習があり子供の数が多かったことでもあります。またそのため昔から、領地外にその生活を求めて行っていた人が多かったそうです。)干害や暴風雨による農作物への被害が続いたこと、1884年(明治17年)から始まった宇品築港、及び湾岸埋め立て工事(これも開拓した土地を士族たちに与える目的でした)により広島湾の漁場が少なくなったことなどから、より良い収入を求めて、海外への移民が増えたそうです。(同じ時期に北海道にも、新天地を求め多くの人が移民しました。)

移民した人は、生活費を節約して故郷で待っている家族に送金したり、3年間の契約を終えて大金を持って帰国しました。(ハワイで働いて得られるお金は、月給\$9、食費\$6、計\$15だったそうです。日本円で計算すると17円65銭です。これは当時の日本国内で働いて得られるお金の3~7倍という高い収入だったそうです。)そのような成功者の話が伝わり、不景気で仕事がない日本よりはハワイに行こうという人が増え、移民の希望者はどんどん増えていったそうです。

広島県の移民が多かったのは、このような理由からで原爆のせいではあるかもしれません。しかし、戦時中の日本人に対する扱いに耐えていらずで、故郷である広島悲報を耳にした移民の方達の驚きと悲しみは想像に耐えません。

また、カナダの最初の移民は何時来たのでしょうか?記録に残っているカナダへの最初の移民は、1877年(明治10年)にカナダ(密)入国を果たした長崎県出身の永野万蔵でした。

その10年後1887年(明治20年)には、日本人の長期移民の基礎を築いた和歌山県三尾村出身の工野儀兵衛がスティープストーンに移住してきています。彼が故郷に書き送った手紙を読んで、三尾村からたくさんの若者が移民してきたそうです。

カナダへの日系移民は、その始まりから官約、民間移民ではなく、日本、他の移住先からの移住変えなど自分の意思で移住してきた移住者達が多かったそうです。出身都道府県で多いのは、和歌山県と滋賀県とのことでした。

今までに移民として移住された方々には、それぞれにさまざまな理由があったようですが、やはりその時の政情の犠牲となったと言えるかもしれません。けれど移民となった一人一人の方々は、理由にかまうことなくその時を精一杯に生きて生活を支えていったことと思います。今でも生きていくことは、いろいろな意味で大変なことだとは思いますが、その頃に比べればまだまだ耐えられる範囲内だと思えます。

今こうして私たちが日本人であることを誇りに思える環境、日本人であることを好意的に受け取ってもらえるのも、先人の方達の築いてきた信頼と、勤勉な働きのおかげであると、改めて感謝の思いを深めて、今を大切に生きていこうと思います。



ダイヤモンド、カラーストーン、  
各種パール、カスタムデザイン、  
リモデリング、修理

SEIKO Noritake SEAGULL  
PEWTER

**Kobo Jewellery**

6 Garamond Court, Suite 245, Toronto M3C 1Z5  
(日系文化会館2階)  
Tel: 416-384-0008 Fax: 416-384-0013  
kobjewellery@bellnet.ca

新鮮さ味一番!!

オーシャンフードの練り製品をどうぞ!

◎かまぼこ ◎てんぷら ◎さつま揚げ ◎シューマイ  
◎竹輪 ◎はんぺん ◎その他練り製品

日本食品店でお求めください

**Ocean Food** CO. LTD. Since 1980  
SEAFOOD MANUFACTURER  
3 TURBINA AVE, TORONTO, ONT. M1V 5G3  
www.oceanfood.ca TEL.(416) 285-6487 FAX.(416) 285-4012



11月20日、トロント新移住者協会ではケニアにご栄転が決まった古賀達朗領事の歓送会と同時に後任の小谷野靖之(やすゆき)領事をお迎えして歓迎会を行った。(小谷野さんは今までジャマイカからブラジル、タイ、ナイジェリアを歴任されている)

長い間、地域担当領事として戦後移住者の個性的な私達の陰になり日向になり面倒を見てきて頂いた古賀領事ご栄転に一同喜びを分かち合った。

また、小谷野領事にはこれからのご指導とご鞭撻をお願いし和やかな中で閉会した。



有り難い移民仲間

丸木英朗

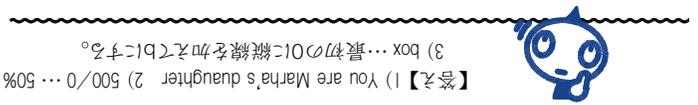


11月にブラジルのリオデジャネイロで開催されたマスターズ水泳パンアメリカン大会でバタフライ百メートルと百メートル平泳で2個の銀メダルを獲得しました。ちなみに、優勝者はどちらもアメリカの元オリンピック選手で、とても太刀打ちできませんでした。



実は、今回の競泳に際してはブラジル、メキシコ、アメリカ、オランダ、日本に住む移民仲間の応援団が各地から声援を送ってくれたのみでなく、僕が子供の頃にグリコを食べると元気が出たMLにメールしたので、「一粒三百メートル」商標のグリコを日本からリオデジャネイロの会場まで届けてくださったのです。このような、家族や親戚以上に暖かい心の持ち主に囲まれ、ひとつめの銀メダル受賞日の晩にブラジル各地から12人集まり祝勝会兼激励会を、リオで最も見晴らしのいいレストラン「ボルコン」でシュラスコ(ブラジル名物のパーベキュー)で舌鼓を打ちました。同船者のMLが発展し多数のメル友が交信するハイテク時代のおかげで、思いも寄らない心温まる付き合いが始まり、5月訪日の際もたまたま訪日中の仲間と築地の玉寿司で会いました。オンライン交信でなく、オフラインのオフ会と称し少人数の際にはミニオフ会です。ナイヤガラの斉藤さんは毎年4月の東京オフ会に参加されていますが、僕も関西オフ会か九州オフ会に出席しようと思っております。去年スエーデンでの世界選手権でも金メダルを逸したので、2016年に日本で開催予定の大阪大会では優勝し故郷に錦を飾る所存です。

MLにメールしたので、「一粒三百メートル」商標のグリコを日本からリオデジャネイロの会場まで届けてくださったのです。このような、家族や親戚以上に暖かい心の持ち主に囲まれ、ひとつめの銀メダル受賞日の晩にブラジル各地から12人集まり祝勝会兼激励会を、リオで最も見晴らしのいいレストラン「ボルコン」でシュラスコ(ブラジル名物のパーベキュー)で舌鼓を打ちました。同船者のMLが発展し多数のメル友が交信するハイテク時代のおかげで、思いも寄らない心温まる付き合いが始まり、5月訪日の際もたまたま訪日中の仲間と築地の玉寿司で会いました。オンライン交信でなく、オフラインのオフ会と称し少人数の際にはミニオフ会です。ナイヤガラの斉藤さんは毎年4月の東京オフ会に参加されていますが、僕も関西オフ会か九州オフ会に出席しようと思っております。去年スエーデンでの世界選手権でも金メダルを逸したので、2016年に日本で開催予定の大阪大会では優勝し故郷に錦を飾る所存です。



日本では、干支=十二支として使われることが多いのですが、本来は十干と十二支はまったく別のものです。十二支は中国の殷の時代に王充(おういつ)という人により作られ、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥の十二支により十二年で太陽を一周する木星の軌道上の位置を示すための任意の数詞でした。

同じころ殷代には、「日(太陽の巡り)」を数えるための数詞として十干がありました。一ヶ月を上、中、下、の三旬に十日ずつに分けた、その十日を単位にしたものが十干で、これには、甲(きのえ)、乙(きのと)、丙(ひのえ)、丁、(ひのと)戊(つちのえ)、己(つちのと)、庚(かのえ)、辛(かのと)、壬(みずのえ)、癸(みずのと)があります。十干を五行に配し、各々の陽(兄=え)と、陰(弟=と)を配して、木の兄(きのえ)、木の弟(きのと)、火の兄(ひのえ)、火の弟(ひのと)のように以下、土、金、水を配しています。

ですから十干の甲(きのえ)と十二支の子(ね)を配した甲子(きのえね)は60年たつとまた最初の組み合わせの甲子に戻ります。これを本卦還りとか、還暦又は華甲(かこう)と呼んでおります。

人の生まれ年をトラ年生まれとか辰年生まれなどと言いますが、これの年に太陽暦のお正月を当てるのは間違いで、本来は中国の新年から数えるといえます。中国の新年は年により異なりますが、大体において2月の最初の数日がこれに当たると考えられます。従って我々の使う太陽暦(グレゴリオ暦)の2月4、5日までに生まれた人は本来はその年の干支の前の年の干支が使用されるのが本来の干支だそうです。例として、昭和14年の1月9日に生まれた私は太陽暦では9日間、ウサギがかかっている、干支としては中国暦では、丸々の寅と謂われます。

## 2012年のお正月会

新しい年を日本の伝統的な風習と楽しい雰囲気の中でお祝いしましょう。

お屠蘇の振る舞い、書初め、お餅つき、獅子舞いなど、さらに、うどん、まんじゅう、などの日本の食べ物各種、日本のおもちゃ、伝統品などの各種の出店、舞台では踊り、歌、演奏などの盛りだくさんのプログラム。子供先着100名にお年玉。毎年多くの参加者が着物姿で訪れます。日本から来た人達が日本でもこういうお正月行事は見られないと驚く素晴らしいお正月会です。毎年会館が人であふれます。家族・友達を誘ってどうか日本のお正月を楽しんで下さい。

**日系文化会館協賛**

2012年1月22(日)

午前11時から午後5時まで

場所：日系文化会館

入場料：  
 トロント新移住者協会/日系文化会館会員 \$5、会員家族 \$12 (大人 2人に12歳以下の子ども3人まで。子供=(6~12歳。)、  
 非会員 \$7、非会員家族 \$16、  
 シニア/子供(6~12歳) \$4、6歳以下の幼児は無料。

詳細・問い合わせ： 中山: 905-738-4281  
 または三浦: nobbycosmic@yahoo.co.jp  
 (ブース申し込み) 長石: 416-258-4997 / yoshi.nagaishi@gmail.com

**【編集後記】** 編集責任者 森貞一弘  
 「雨ニモマケズ風ニモマケズ…」ああこれは僕のモットーだと電子書籍をしみじみと読んでいると軽いサンバのリズム♪(オールナイト日本のテーマ曲)が流れ「あ〜た、今、どこ?」と妻が尋ねる…スマートフォンって、なかなか便利だね。次回は4月発送、3月15日が締め切りです。njcanews@live.jp